

令和3年度第2回 川崎温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）理事会

日時：令和3年11月29日（月）10時～
場所：WEB開催

次 第

1 開会

2 挨拶

3 議題

- (1) 川崎市地球温暖化対策推進基本計画改定について
- (2) 一般廃棄物処理基本計画第3期行動計画策定について

4 情報提供等

- (1) 各理事からの情報提供等
 - ・第9回かわさき環境フォーラムについて
- (2) 事務局からの情報提供等
 - ・第10回スマートライフスタイル大賞実施結果について
 - ・SDGs・脱炭素セミナーについて
 - ・動画のご案内「川崎からの再エネ100宣言！～企業ができるカーボンニュートラルの取組～」について

5 その他

6 閉会

《資料》

資料1 川崎市地球温暖化対策推進基本計画（案）PR版

資料2 川崎市一般廃棄物処理基本計画 第3期行動計画（案）（概要）

情報提供 第9回かわさき環境フォーラムちらし

情報提供 第10回スマートライフスタイル大賞（報道発表資料）

情報提供 第10回スマートライフスタイル大賞リーフレット

情報提供 SDGs・脱炭素セミナーちらし

情報提供 動画のご案内「川崎からの再エネ100宣言！～企業ができるカーボンニュートラルの取組～」

参考資料 川崎温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）理事・アドバイザーメモ簿

川崎市一般廃棄物処理基本計画～第3期行動計画～(案)【概要】

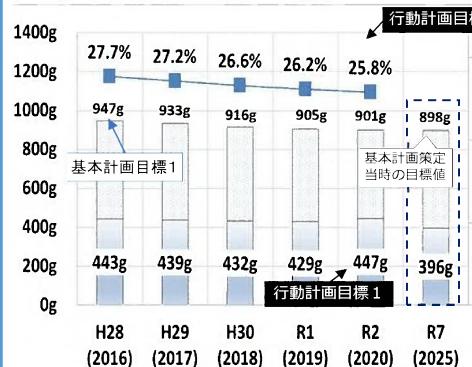
1 川崎市一般廃棄物処理基本計画の概要 本編.P1～2

- **基本理念** 地球環境にやさしい持続可能なまちの実現をめざして
- **基本方針**
 - ①社会状況の変化等に的確に対応し、限りなくごみをつくる社会を実現する
 - ②市民・事業者・行政の協働により“エコ暮らし”を実践し、さらに3Rを推進する
 - ③安心して健康に暮らせる快適な生活環境を守る
- **計画期間** (H28(2016)～R7(2025))【10年間】
基本計画の実効性を確保するため、2年～4年間を計画期間とした行動計画を定める。



- **基本計画目標**
 - 目標①** 1人1日あたりのごみ排出量を10%削減
(H26(2014)) 998g ⇒ (R7(2025)) 898g
 - 目標②** 年間のごみ焼却量を4万t削減
(H26(2014)) 37万t ⇒ (R7(2025)) 33万t

【行動計画目標1】・【基本計画目標1】及び
【行動計画目標2】推移グラフ



【行動計画目標3】及び【人口】推移グラフ



1人1日あたりの普通ごみ排出量 ⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響等により増加
家庭系の資源化率 ⇒ ペーパーレス化等による紙資源物の収集量減少
ごみ焼却量 ⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響等により家庭系が増加、事業系が減少

2 第2期行動計画の取組と進捗状況 本編.P3～12

(1) 主な取組状況

- 基本施策1：『環境市民』をめざした取組**
出前ごみスクール、ごみゼロカフェの開催など
- 基本施策2：ごみの減量化・資源化に向けた取組**
エコショップの認定、食べきり協力店制度など
- 基本施策3：廃棄物処理体制の確立に向けた取組**
災害時における安全・安心な廃棄物処理体制の確保など
- 基本施策4：健康的で快適な生活環境づくりの取組**
ふれあい収集の実施、一時多量ごみ制度の確立など
- 基本施策5：低炭素社会・自然共生社会をめざした取組**
処理センターにおける廃棄物発電の実施など

(2) 進捗状況

- **第2期行動計画期間(H30～R3)における目標** (基本計画の目標を達成するための中間目標)
【基準年度】 【R2現在】 【目標値】
(H28(2016)) (R2(2020)) (R3(2021))

【目標1】1人1日あたりの普通ごみ排出量*を36g削減	443g ⇒ 447g	407g
【目標2】家庭系の資源化率32%	27.7% ⇒ 25.8%	32.0%
【目標3】ごみ焼却量を2.2万t削減	36.6万t ⇒ 35.8万t	34.4万t

*ごみ全体のうち家庭から週2回排出される普通ごみ量

3 社会状況の変化等 本編.13～17

(1) 国内外の動向

- 第四次循環型社会形成推進基本計画 (2018年閣議決定)
- プラスチック資源循環戦略 策定 (2019年5月)
- (G20)大阪ブルー・オーシャン・ビジョン表明 (2019年6月)
- プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律成立 (2021年6月)

※国民のライフスタイルの変化等によるごみ排出動向への影響を注視することが必要

(2) 川崎市の状況

- 今後も当面見込まれる人口増加(2030年に160.3万人) →高齢化の更なる進行
- 「SDGs未来都市」に選定 (2019年7月)

(3) 脱炭素化に向けて

- 脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」策定 (2020年11月)
- 川崎市プラスチック資源循環への対応方針 策定 (2020年11月)

→2050年の脱炭素社会の実現を目指し、廃棄物分野も温室効果ガス排出量の大幅な削減が必要

・市役所が排出する温室効果ガスの約4割が廃棄物焼却由来であり、川崎市地球温暖化対策推進基本計画(2022.3改定予定)を踏まえ、廃棄物焼却由來の温室効果ガスを2030年度までに2013年度比24%削減が目標

- ・2013年度比24%削減の為には、廃棄物焼却由來の温室効果ガスを2020年度実績(17万t-CO₂)から4.9万t-CO₂削減することが必要
- ・廃棄物焼却由來の温室効果ガスのうち約8割がプラスチックごみ焼却由來であり、4.9万t-CO₂削減に向けてはプラスチック資源循環の取組の加速化が必要
- ・具体的な指標として「プラスチック製容器包装」については、今後の人口動態、ごみ排出量の予測等を踏まえ、令和12年度までに分別率60%にしていくことが必要

⇒第3期行動計画の期間内においても2030年度を見据えた目標の設定が必要

(1) 策定の背景

- 第2期行動計画の後継計画の策定
- 人口増加や生活様式の変化等に伴うごみの排出動向の変化への対応
- 取組の強化によるごみ焼却量の削減が必要
- 超高齢社会の到来や大規模災害への対応などの市民ニーズに応え対応していくことが必要

(2) 策定における視点

- 環境負荷の少ない2R（リデュース・リユース）を基調とした循環型社会の構築
- 資源循環・脱炭素・自然共生の統合的な取組の推進による持続可能な社会の構築
- 良好な生活環境・まちの美化向上をめざす体制の構築
- 効果的、効率的な事業執行体制の構築
- 社会状況の変化等を見据えた対応

R4（2022）年度からR7（2025）年度までの4年間

(1) 目標

第3期行動計画は、基本計画における最終の行動計画となり、基本計画の目標を達成めざすことから、第3期行動計画の目標は基本計画の目標と同項目とし、第2期行動計画の進捗状況等や脱炭素化の視点も取り入れた目標を新たに設定するものとします。

※これまで第2期行動計画において目標としてきた「1人1日あたりの普通ごみ排出量」と「家庭系の資源化率」は重点施策の参考指標として取組の進捗管理に活用

【強化】目標1 1人1日あたりのごみ排出量を28g削減

[R2(2020)] [R7(2025)]

901 g ⇒ 873 g

【継続】目標2 ごみ焼却量を2.8万t削減

35.8万t ⇒ 33.0万t

【新規】目標3 プラスチック製容器包装の分別率45%

37.8% ⇒ 45.0%

(2) 定性的指標（目指すべき到達点）

- 超高齢社会への対応
高齢者が安心して暮らし続けられるまちの実現に向け、ふれあい収集を必要とする方に適切に認知・実施されるとともに「みまもり」による地域等との連携強化
- 災害への対応
非常時における処理体制を確保するため、他都市や民間事業者等との連携を図るとともに、平常時から発災時の分別方法への理解を高めることで日頃の防災に対する備えや意識の向上
- 有害廃棄物・処理困難物への対応
市民が処分できず自宅で保管するなどの状況を改善し、適正処理体制の構築
- 環境美化向上への対応
環境先進都市としての魅力の向上や、市民の環境意識の向上

(1) 基本施策I 「環境市民」をめざした取組

- 幼児・低年齢層への普及促進
- ICTを活用した環境教育・環境学習の充実
- 多様な市民への普及促進
- 多様な媒体を活用した情報提供
- 多様な市民に向けた資源物とごみの分け方・出し方の効果的な情報提供組の推進
- 災害発生時の分別方法の周知
- 廃棄物減量指導員等との連携強化
- ごみゼロカフェなど市民参加の取組の推進

(2) 基本施策II ごみの減量化・資源化に向けた取組

- 分別率向上・減量化に向けた取組の推進
- 製品の適正包装の推進
- 拠点回収・店頭回収の推進
- 資源集団回収事業の充実
- プラスチックごみ削減の推進
- 脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみぞのくち」等を活用した取組の推進
- プラスチック製品のリサイクルの推進
- 事業系資源物のリサイクル率の推進
- 3きり運動の推進
- 生ごみの減量化・リサイクルに係る取組の推進
- 家庭系食品ロス対策等の推進
- 事業系食品ロス対策等の推進

(3) 基本施策III 廃棄物処理体制の確立に向けた取組

- 有害廃棄物・処理困難物への取組
- 災害時における安全・安心な廃棄物処理体制の確保
- 安定的な処理体制の運営
- 橋処理センターの建替
- 堤根処理センターの建替
- 資源化処理施設の整備等
- 民間活力の導入を含めた公共と民間の役割分担の検討

(4) 基本施策IV 健康的で快適な生活環境づくりの取組

- まちの環境美化
- 各種普及啓発キャンペーンの実施
- ごみ相談窓口の充実
- 超高齢社会を見据えたふれあい収集等の推進
- 不適正排出指導等の徹底
- 持ち去り対策の強化
- 搬入禁止物の混入防止

(5) 基本施策V 脱炭素社会・自然共生社会をめざした取組

- 廃棄物発電事業等の余熱利用の推進
- 廃棄物発電の新たな活用法の検討

<プラスチック資源循環>

施策の方向性

- プラスチックごみの発生抑制
- プラスチック製容器包装の分別率向上
- プラスチック製品の一括収集に向けた取組

取組の内容

- 広報内容の変更や、ナッジの活用による市民の行動変容を促す取組
- マイバッグ、マイボトルの利用促進（給水スポットの導入実証含む）
- プラスチック製の容器包装と製品の一括収集（実証事業や先行実施に向けた取組）
- 環境産業等と連携した取組の推進

基本施策（基本計画）	具体的な施策（第3期行動計画）	重点施策	脱炭素	定性的指標	エコ暮らし
I 「環境市民」をめざした取組  4 環境教育をみんなに 17 パートナーシップで目標を達成しよう 	(1) 環境教育・環境学習の推進	① 幼児・低年齢層への普及促進 ② ICTを活用した環境教育・環境学習の充実 ③ 多様な市民への普及促進 ④ 普及啓発拠点等を活用した啓発活動の充実 ⑤ イベント等に関する啓発活動の充実	★ ★ ★ ● ●		●
	(2) 情報共有の推進	① 多様な媒体を活用した情報提供 ② 多様な市民に向けた資源物とごみの分け方・出し方の効果的な情報提供 ③ 災害発生時の分別方法の周知	★ ★ ★		● ●
	(3) 市民参加の促進	① 廃棄物減量指導員等との連携強化 ② 地域環境リーダーの育成 ③ ごみゼロカフェなど市民参加の取組の推進 ④ 環境功労者の表彰	★ ● ★ ●		● ● ●
		① 分別率向上・減量化に向けた取組の推進 ② 製品の適正包装の推進 ③ 拠点回収・店頭回収の推進 ④ 資源集団回収事業の充実 ⑤ プラスチックごみ削減の推進 ⑥ 脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみぞのくち」等を活用した取組の推進 ⑦ プラスチック製品のリサイクルの推進	★ ★ ★ ★ ★ ★ ★	● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ●
		① 3Rに取り組む店舗等に係る認定制度の普及 ② 事業系ごみの減量化等に向けた広報の充実と指導の徹底 ③ 事業系資源物のリサイクルルートの推進	● ● ★		● ● ●
		① 市庁舎等におけるごみ減量化運動の推進 ② グリーン購入の促進 ③ 3きり運動の推進	● ● ★		● ● ●
		② 生ごみの減量化・リサイクルに係る取組の推進 ③ 学校給食における生ごみリサイクルの推進 ④ 家庭系食品ロス対策等の推進 ⑤ 事業系食品ロス対策等の推進	★ ● ★ ● ●		● ● ● ● ●

(1) 計画の進行管理

「計画（Plan）・実行（Do）・評価（Check）・改善（Action）」に基づく、効率的な点検の実施とその評価結果の取組への反映による進行管理の実施

(2) 計画の進捗状況の公表

川崎市環境審議会への報告やホームページでの公表の実施

基本施策（基本計画）	具体的な施策（第3期行動計画）	重点施策	脱炭素	定性的指標	エコ暮らし
III 廃棄物処理体制の確立に向けた取組  11 ごみ分けられるまちづくり	(1) 安全・安心な処理体制の確立	① 廃棄物処理技術の研究と技能の継承 ② ごみ焼却灰（埋立灰）及び埋立処分場の適切な管理 ③ 有害廃棄物・処理困難物への取組 ④ 廃棄物処理施設等の補修・整備 ⑤ 災害時における安全・安心な廃棄物処理体制の確保	★ ● ★ ● ●		
	(2) 3処理センタ一体制の安定的な運営	① 安定的な処理体制の運営 ② 橋処理センターの建替 ③ 堤根処理センターの建替 ④ 資源化処理施設の整備等	★ ● ● ●		
	(3) 効果的・効率的な処理体制の構築	① 計画のフォローアップ等 ② 効果的な経済手法の研究 ③ 民間活力の導入を含めた公共と民間の役割分担の検討	● ● ●		
		① まちの美化 ② 各種普及啓発キャンペーンの実施	★ ● ●	● ● ●	● ● ●
	(2) 市民ニーズに対応した取組の推進	① ごみ相談窓口の充実 ② 超高齢社会を見据えたふれあい收集等の推進 ③ 市民ニーズに対応したごみ収集	● ● ●		
	(3) 不適正排出対策等の取組	① 不法投棄対策の実施 ② 不適正排出指導等の徹底 ③ 資源物の持ち去り対策の強化 ④ 搬入禁止物の混入防止	● ● ● ●		
		① 廃棄物発電事業等の余熱利用の推進 ② 廃棄物発電の新たな活用法の検討 ③ バイオマス資源の利用促進に向けた調査・研究	● ● ●		
	(2) 脱炭素社会・自然共生社会をめざした取組	① 様々な地域活動団体等と連携した取組の推進 再掲【II(1)①～⑦、(2)①～③、(3)①～②、(4)①～⑤、III(2)②～③、V(1)①～③、(2)①、(3)①～②、(4)①～②、④】	● ● ● ● ● ● ●		
	(3) 環境に配慮した処理体制の構築	① 環境にやさしい輸送システムの構築 ② 環境マネジメントシステムを活用した処理センターの運営 ③ 埋立処分場延命化の研究	● ● ●		
	(4) 蓄積された環境技術等を活かした取組	① 環境に配慮した製品の開発促進に向けた環境づくり ② 環境産業との連携等 ③ 国際貢献の推進 ④ 低CO2川崎ブランドの推進	● ● ● ●		

- 令和3年1月25日 環境委員会報告
 1月26日 パブリックコメント開始
 1月29日 市民説明会
 1月27日 パブリックコメント終了
 令和4年3月 計画策定 ⇒ 環境委員会報告

かわさき

第9回

環境フォーラム

脱炭素アクションみぞのくち



Carbon Zero Action
MIZONOKUCHI

2021年

12月11日(土) 11:00~15:00

高津区役所

東急田園都市線溝の口駅・JR南武線武蔵溝ノ口駅
徒歩約4分

入場無料
別途参加費が必要な講座もあります

事前申込制

エコや環境を楽しく学べる工作や体験コーナーがもりだくさん!!



風力発電機を作ってみよう！



日産わくわくエコスクール



紙パックランタン



エコで快適な家の作りかた



「プラ」活用でプラスボン作り



はかなくなつた靴下でうさぎを作ろう！



偏光万華鏡を作つてみよう！



マイバッグを作つてみよう！



ソーラーオルゴールのバースデーカードを作ろう！

※内容は予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

申込方法

～下記ホームページよりお申込みください～

<https://www.cckawasaki.jp/kwccca/>



申込締切：2021年12月2日(木)17:00必着

会場アクセス

～今年は高津区役所で開催します～

- JR武蔵溝ノ口駅南口から 徒歩4分 東急溝の口駅南口から 徒歩3分
- JR武蔵溝ノ口駅・東急溝の口駅南口のバスロータリーから右方 向（蔵敷方向）へ。東急田園都市線の高架をくぐり直進すると 高津区役所に到着します。

※区役所内工事のため、当日は併設する地域みまもり支援センター（保健所） 入口をご利用ください。

▼地図はこちら▼



お問合せ 川崎市地球温暖化防止活動推進センター

〒213-0001 川崎市高津区溝の口1-4-1 ノクティ2-11F (高津市民館内)

TEL: 044-813-1313 FAX: 044-330-0319

<http://www.cckawasaki.jp/kwccca/> 開所時間：10:00～17:00 (月・火休館)

主催：川崎市地球温暖化防止活動推進センター（認定特定非営利活動法人アクト川崎）後援：川崎市・C C かわさきエコ会議

■■■■■■■■■会場講座はお一人様2講座、オンライン講座はいくつでもお申込みいただけます■■■■■■■■■

～各講座の詳細は、当センターホームページも併せてご参考ください～

- 各講座の対象をご確認のうえお申込みください。（対象外のお申込みは無効となりますので、ご了承ください。）
- ホームページよりお申込みください。（ホームページ以外からの申込はできません。）
- 会場講座は、お一人様1回2講座まで、オンライン講座はいくつでもお申込みいただけます。（同じ参加者での複数回のお申込みはご遠慮ください。）
- お申込み後の講座変更はできません。
- お申込み者多数の場合は抽選となります。（定員に達していない場合等は、お申込み締切後の継続受付や当日枠を設ける場合があります。）
- ご参加可能な方には、12月8日（水）頃迄の間に当選ハガキ（会場講座）またはメール（オンライン講座）にてお知らせします。（参加可能講座をご確認のうえ、会場講座にご参加の場合当日当選ハガキをご持参ください。）
- 落選の方へのご連絡はありません
- 会場講座の場合、各自ご持参いただく物等の詳細は別途ご案内します。（当選ハガキにてご案内します。）
- オンライン講座はZOOMミーティング形式で行います。

～当日会場でご参加いただく際は、各会場での密を避ける為、ご参加者様に付き添いされる場合は1名様迄、また、各コーナーの新型コロナウイルス対策にご協力願います～

会場講座 12月11日(土) 高津区役所

～会場講座はお一人様2講座までお申込みできます～

	講座名（出展団体）	内容	開催時間	定員	参加費	対象
1	新しい電池 燃料電池を体験してみよう！ (省エネグループ)	今後の新しいクリーンなエネルギー「燃料電池」の原理を分かり易く説明します。「燃料電池」も実際に作って体験します。	11:00～12:30	10名	200円	小学4年生以上
2	日産わくわくエコスクール (日産自動車㈱)	地球温暖化と電気自動車について楽しく学ぼう！実験は自分で作った電気リーフモルダーを走らせます。	⑧11:00～11:30 ⑨13:30～14:00	各回親子8組16名	無料	小学1年生以上
3	マイバッグを作ってみよう！ (グリーンコンシューマーグループかわさき)	實物にも使える自分だけのオリジナルマイバッグを作ります。	⑧11:00～11:30 ⑨11:45～12:15	各回11名	200円	小学4年生以上
4	紙パックランタン (かわさきエコ暮らし未来館)	牛乳パックで作るステンドグラス風のソーラーランタンを作ります。	⑧11:00～11:30 ⑨11:45～12:15 ⑩13:00～13:30 ⑪13:45～14:15 ⑫14:30～15:00	各回10名	無料	小学1年生以上
5	偏光万華鏡を作ってみよう！ (川崎市地球温暖化防止活動推進センター)	2枚の偏光板とセロテープで万華鏡を作っています。無色のものがカラフルに見えるので、他のものでも試してみましょう。	11:00～11:30	親子8組16名	200円	小学1年生以上
6	風力発電機を作ってみよう！ (川崎市地球温暖化防止活動推進センター)	不要になったペットボトルを利用して風力発電機を作ります。風でLEDが点灯するか実験してみましょう。	11:45～12:15	親子5組10名	500円	小学1年生以上
7	ソーラーオルゴルのバースデーカードを作ろう！ (ソーラーチーム)	お日さまのパワーで音楽が流れるオリジナルなオルゴル・カードを作ります。手回し電車等のソーラーおもちゃも体験できます。	13:30～15:00	親子10組20名	400円	小学4年生以上
8	はかなくなった靴下でうさぎを作ろう！ (無印良品ノクティプラザ溝の口)	はかなくなった靴下や片方だけになってしまった靴下を使って、うさぎのぬいぐるみを作ります。	13:30～15:00	親子10組20名	200円	小学4年生以上
9	エコで快適な家の作り方 (川崎サバイバル)	ボール紙でいろいろな家を作ります。カーテンのある家、断熱のある家…。作った家で暖かさがどれくらい違うか、実験してみます。日本の家は冬暖かく、夏暑いと言われていますが、快適な家作りに応用できるかもしれません。	13:30～15:00	親子10組20名 〔お子さま（単独でも可）〕	500円	小学4年生以上
10	「プラ」活用でプラバン作り (3R推進プロジェクト)	お弁当のふた等のプラスチックを使ったプラバンでストラップを作ります。	⑧13:30～14:00 ⑨14:00～14:30 ⑩14:30～15:00	各回8名	50円	小学4年生以上

～会場では“脱炭素アクションみぞのくち”他、パネル展示もあります～

オンライン講座 12月12日(日)

参加費無料

～オンライン講座はいくつでもお申込みできます～

	講座名（講師）	内容	講師	開催時間	定員
1 1	【講演会】 世界と日本の脱炭素対策 ～IPCC第6次報告とCOP26から考える～	講師の平田仁子氏は、脱炭素社会の実現に向けた取組が評価され、2021年「ゴールドマン環境賞」を受賞されました。	気候ネットワーク国際ディレクター・理事 C A N - J a p a n代表 平田仁子氏	9:30～11:00	80名
1 2	【学習会】 南武線物語 ～鉄道の過去・現在・未来～	南武線を事例として、鉄道の過去、現在、未来について、鉄道に詳しい間口氏からお話を伺います。	鉄道史学会会員 間口健一氏	13:30～14:30	30名
1 3	【講座】 自然の電気に切り替えよう！	家庭でできる脱炭素対策「自然の電気への切り替え」についての講座です。“みい電”（みんなと一緒に自然の電気・川崎市等のキャンペーン）についても取り上げます。	川崎市地球温暖化防止活動推進センター 廣瀬健二	15:00～15:30	30名
1 4	【討論会】 「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」改定案 ～みんなでパブコメに参加しよう～	基本計画改定に関するパブコメが行われます。脱炭素対策に関する課題について、多様な市民意見を提供できるように、みんなと一緒に話し合いましょう。	-	16:00～17:30	50名

ご来場時は、マスク着用等、新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願いします。また、感染状況等により、本イベントの中止や、予告なくプログラム変更等をする場合がありますので、予めご了承ください。

「第10回スマートライフスタイル大賞」表彰式を開催しました

市民や事業者等のCO₂削減、地球温暖化対策に貢献する優れた取組やノウハウを「スマートライフスタイル大賞」として表彰するとともに、これを発信し広げていくことで、CO₂削減及び地球温暖化対策を推進することを目的として、表彰式を開催しました。

また、今年度は第10回特別企画として「スマートライフスタイル大賞の軌跡」をホームページで公開いたしました。

1 第10回スマートライフスタイル大賞表彰式について

- (1) 開催日時：11月18日（木）10時から11時まで
- (2) 開催場所：川崎市役所第3庁舎18階大会議室
- (3) 出席者：各受賞団体、CC川崎エコ会議会長、川崎市長ほか
- (4) 受賞団体：18団体（別紙一覧のとおり）

【内訳】最優秀賞2団体、優秀賞5団体、奨励賞11団体

- (5) 内容：主催者挨拶、表彰状授与、受賞者代表挨拶

※例年行っていたパネルディスカッションを中止して時間を短縮したほか、受賞者以外の参加者を減らすなど、感染症対策をとった上で開催いたしました。



市長から受賞者代表へ表彰状が授与されました



終了後、記念写真撮影を行いました

2 第10回特別企画「スマートライフスタイル大賞の軌跡」について

第9回までの受賞団体の取組をまとめた特別企画として、「更なるCO₂削減に成功した事例」や「他団体や地域へ波及し、好影響を与えた事例」を紹介しています。

表彰式と合わせて、CCかわさきホームページにて公開いたしました。

URL : <https://www.cckawasaki.jp/>



【問合せ先】

川崎市環境局地球環境推進室 五十嵐
電話 044-200-2865

第10回 スマートライフ スタイル大賞

2021

第10回スマートライフスタイル大賞受賞者

最優秀
賞

- 川崎信用金庫 | 環境に配慮した店舗
- 前田道路株式会社 | まえだTEQ、まえだパークによるグリーンインフラの整備

優秀賞

- トカイナカヴィレッジ松本傳左衛門農園
- マルイファミリー溝口・ノクティプラザ
- 株式会社 内藤アカデミー
- 川崎市立南野川小学校
- 早野聖地公園 里山ボランティア

奨励賞

- 川崎花卉園芸株式会社
- 川崎市立大谷戸小学校
- 川崎市立末長小学校
- 一般社団法人 川崎建設業協会
- GBtechnology株式会社
- 東京貿易マテリアル(株) 京浜営業所
- 日崎工業株式会社
- 有限会社グリーンフーズあつみ
- ジェクト株式会社
- セレサ川崎農業協同組合
- 株式会社 渡辺土木





第10回
スマートライフスタイル
大賞
最優秀賞

川崎信用金庫

環境に配慮した店舗

百合丘支店新店舗は、建物の断熱性能により省エネルギー性能を高めることで、「ZEB Ready」認証および「BELS」の最高ランク5を取得した。また、「実質再生可能エネルギー100%の電力プラン」を導入したほか、金融機関として初めて「令和2年度川崎市木材利用促進事業補助金」を活用し、ロビーの一部に国産木材を使用している。

更にプラスチックごみの削減として、川崎市の施策と歩調を合わせ、職員向けウォーターサーバーの全営業所への導入や、マイボトル等の利用を推奨するとともに、デジタルサイネージ等でカーボンゼロに関する普及啓発に努めている。



第10回
スマートライフスタイル
大賞
最優秀賞

前田道路株式会社

まえだTEQ、まえだパークによる グリーンインフラの整備

敷地の舗装部分の大半をヒートアイランド現象等の対策工法(遮熱性、保水性、他3種)の舗装材によって施工しているほか、地中には雨水貯留槽を4か所設置し、敷地内に降った雨水をすべて貯留槽に集水させ、自動灌水や、吸い上げ材を使用した無動力灌水による植栽の水やりに活用することで、下水処理時に発生するCO₂の削減に貢献した。

また、敷地の一部を災害時の避難地(まえだパーク)として一般開放するとともに、パークの設備を体験してもらうことで、「雨水の活用とヒートアイランド現象対策」を学ぶ場として地域に貢献している。



CC川崎エコ会議・川崎市では、

市民や事業者等の省エネ・節電等のCO₂削減に貢献する優れた取組を表彰しています。

「第10回スマートライフスタイル大賞」では、**最優秀賞2件、優秀賞5件、奨励賞11件**の表彰を行いました！

※CC川崎エコ会議とは、市内の多様な主体(市民、事業者、教育機関、行政等)による地球温暖化対策の推進ネットワークです。

第10回
スマートライフスタイル
大賞

優秀賞

トカイナカヴィレッジ松本傳左衛門農園

国際森林認証木材を通じて森林の大切さを学ぼう！



第10回
スマートライフスタイル
大賞

優秀賞

マルイファミリー溝口・ノクティプラザ

「みんなで地球をまもろう！」
～溝口の街とノクティの共創～



第10回
スマートライフスタイル
大賞

優秀賞

株式会社 内藤アカデミー

学童保育教室における自給と再利用の取組



第10回
スマートライフスタイル
大賞

優秀賞

川崎市立南野川小学校

南野川フードプロジェクト～なくそう食品ロス～



第10回
スマートライフスタイル
大賞

優秀賞

早野聖地公園 里山ボランティア

「ナラ枯れ」樹木の多用途再利用について



「ナラ枯れ」対策のため伐採した樹木を①炭焼きに循環利用したほか、②シイタケのほだ木として活用、③枝部分はチップ化し腐葉土と再利用することで畑に散布予定。炭焼きによる炭素(C)を昨年度は約1150Kgの固定化を実施したほか、その炭(約60Kg)を二ヶ領用水(久地円筒分水一川崎堀)に沈めて水質浄化を実施した。また、里山景観の保全等に継続的に取り組んだ。



第10回
スマートライフスタイル
大賞 委員長特別賞 川崎花卉園芸株式会社

奨励賞 環境に対する当社の行動指針(環境意識について)

コロナ禍で、花の消費が減り世間に出て回ることなく処分される「フラワーロス」対策として、福祉施設などへの花の提供や周辺地域の方々に対する「花育活動」を実施した。また、ごみ分別ルールの徹底やLED照明への変更など温室効果ガス削減に取り組んだ。



第10回
スマートライフスタイル
大賞 環境教育貢献賞 川崎市立大谷戸小学校

奨励賞 夏を涼しく爽やかに

6年生家庭科「夏を涼しく爽やかに」の学習において、エアコンの開発・製造を行う地元企業(富士通ゼネラル)に協力を依頼し、専門的な知識や技術を提供いただき効率的な冷房の方法などについて考えた。学んだ成果は6年生が全クラスへと伝達したほか、各家庭へも広めていった。



第10回
スマートライフスタイル
大賞 省エネ貢献賞 GBtechnology株式会社

奨励賞 エコは地球を救う

4Rを通じてごみの仕分け方法の掲示や分別を徹底したこと、ごみ排出量の見える化に繋がりごみ削減の意識が高揚した。また、デジタルタコグラフの全車両導入を行い省エネ運転を点数評価するなどの意識啓発に繋げたほか、アイドリング減少を促す取組など地域環境保全に努めた。



第10回
スマートライフスタイル
大賞 省エネ貢献賞 日崎工業株式会社

奨励賞 町工場が挑戦する脱炭素への取り組み

創エネとして社屋屋根に太陽光パネルを設置したほか、省エネとして全社LED化、エネルギー量の自社管理、省エネ型主力大型加工機の導入により、CO₂削減に取り組んだ。また、省エネ設備費用については、リースや補助金の活用など導入しやすいように工夫をした。



第10回
スマートライフスタイル
大賞 地域共生推進賞 ジェクト株式会社

奨励賞 国産木材利用促進による森林保護とCO₂削減

檜の古材を活用して木工品を製作し、素材の説明を添えて得意様に贈呈することで木材の素晴らしさを広めた。また、自営の学童クラブで間伐材を利用した木工教室を開催したほか、木材利用促進制度を利用して道南杉を床・壁全面に使用したシェアリングスペースを提案・施工した。



第10回
スマートライフスタイル
大賞 地域共生推進賞 株式会社 渡辺土木

奨励賞 “CO₂排出ゼロの会社経営”への挑戦! アクトIV

本社敷地内及び社有地に様々な植物・農作物を栽培しており、グリーンカーテンを設け夏場の空調温度の抑制につなげられるよう、自社栽培したコーカサスの苗を近隣小学校に配布した。またガソリン車1台を水素自動車に更新し、取引先・協力会社等にもCO₂削減に対する取組みをアピールしている。



第10回
スマートライフスタイル
大賞 環境教育貢献賞 川崎市立大谷戸小学校

奨励賞 5年総合的な学習の時間におけるSDGsの取組

「自分達にできる身近なSDGs」のもと、学校の電気代を調べて現状を知り、自分達にも簡単にできる節電方法を記したポスターなどで全校児童に節電を促した。また、CO₂削減のため、花壇やプランターで植物を育てたり、地域に向けて緑化を促すポスターで呼びかけたりした。



お問合せ先

川崎市環境局地球環境推進室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

[TEL] 044-200-3871 [E-mail] 30tisui@city.kawasaki.jp



第10回
スマートライフスタイル
大賞 地域共生推進賞 セレサ川崎農業協同組合

奨励賞 もらったあなたを幸せに! 情熱のヒマワリプロジェクト!

花農家等で不要になったプランターを回収し、リサイクルできるものをヒマワリの種の小袋と肥料入り培養土をセットにして配布した。また、店舗窓口でヒマワリの種を配布するほか、遊休農地などでもヒマワリ栽培を展開し、CO₂削減だけでなく、市民に笑顔と元気をもたらすことができた。



特別企画

スマートライフスタイル大賞の軌跡

第9回までの受賞団体を対象とした、「更なるCO₂削減事例」や「他団体や地域へ波及し、好影響を与えた事例」を紹介しています。





脱炭素時代を生きる

中小企業のSDGs戦略



川崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

脱炭素って何？企業のSDGsの取組って何をすればいいの？

脱炭素やSDGsの基礎知識から企業や川崎市の取組事例まで

2050年のカーボンニュートラルに向けて明日から取り組めるヒントをご紹介します。

日時

令和3年12月22日（水）
15時～17時（開場14時30分）

開催方法

会場：川崎信用金庫本店 10階大会議室
(川崎市川崎区砂子2丁目11番地1)

オンライン：Zoomウェビナー（後日アーカイブ配信あり）

定員

会場：50名（先着）
オンライン：制限なし

申込方法

会場、オンラインともに事前申込制
12月14日（火）までに申込フォームまたはFAXにて申込
詳細は裏面をご覧ください。

参加
無料

第1部 15:00～16:00

- 2050年カーボンニュートラルに向けて
環境省関東地方環境事務所 次長兼脱炭素チーム長 西前晶子 氏
- こどもたちが安心して豊かに暮らせる脱炭素社会に向けて
～川崎市地球温暖化対策推進基本計画改定（案）～
川崎市環境局地球環境推進室 担当課長 石原賢一



第2部 16:00～17:00

- 脱炭素に向けた企業の取組事例
 - ◇日崎工業株式会社
 - ◇川崎信用金庫
 - ◇株式会社DeNA川崎ブレイブサンダース
- SDGsで未来を変えよう
川崎市SDGs推進アドバイザー 高木超 氏
(慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任助教)



川崎市SDGs推進アドバイザー
高木超 氏



川崎市SDGsプラットフォーム SDGs・脱炭素セミナー

申込方法

申込締切 12月14日(火)

会場、オンラインともに①②いずれかの方法でお申ください。

①申込フォームによる申込

申込フォームから必要事項をご入力ください。

<https://logoform.jp/form/FUQz/50548>

申込フォーム
はこちら



②FAXによる申込

以下の太枠内をご記入の上、044-200-3921まで送信してください。

事業者・団体名 (個人の方は不要です)	
参加者氏名 (人数分記載してください)	
電話番号	
メールアドレス	
FAX番号	
参加方法 (いずれかに○をつけてください)	会場 · オンライン

※申込人数が定員に達した場合はご連絡します。

※オンライン参加の方には、後日メールにてZoomウェビナーのURLをご案内します。



会場のご案内

川崎信用金庫本店
10階大会議室

川崎市川崎区砂子2丁目11番地1

JR川崎駅、京急川崎駅から
徒歩10分

公共交通機関でお越しください。

※感染症拡大防止のため、会場では間隔を空けた座席配置、消毒液の設置、検温の実施などの対策を行います。

ご来場の際にはマスク着用のご協力をお願いいたします。発熱がある場合はご来場をお控えください。

※感染症の状況により、予告なくセミナーを中止・内容変更する場合がございますので、予めご了承ください。

主催 川崎市、川崎市SDGsプラットフォーム

協力 川崎商工会議所、株式会社DeNA川崎ブレイブサンダース

後援 川崎温暖化対策推進会議(CC川崎エコ会議)、環境省(申請中)

お問合せ先

川崎市環境局地球環境推進室

電話 044-200-3871 / メール 30tisui@city.kawasaki.jp



動画のご案内



川崎からの再エネ100宣言！ ～企業ができるカーボンニュートラルの取組～

消費電力100%再エネ化に取り組む市内事業者3者に参加いただき、それぞれの立場の取組などから国内外のカーボンニュートラルの潮流まで、2050年の脱炭素社会の実現に向け、市民、事業者等の行動実践のきっかけとなるよう、幅広く語っていただきました。動画は12月10日より、市ホームページからご覧いただけます。

【QRコード】

川崎からの再エネ100宣言！～企業ができるカーボンニュートラルの取組～

URL : <https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000134733.html>



(令和3年12月10日公開予定)

司会・ファシリテーター



国連環境計画・金融イニシアティブ特別顧問
川崎市国際環境施策参与

末吉 竹二郎 氏

パネリスト（50音順）



川崎信用金庫
お客様サポート部長

中村 浩二 氏



日崎工業株式会社
代表取締役

三瓶 修 氏



富士通株式会社
サステナビリティ推進本部
環境統括部長
濱川 雅之 氏

問い合わせ
川崎市環境局地球環境推進室
電話：200-2169

川崎温暖化対策推進会議（C C 川崎エコ会議）理事・アドバイザーリスト
敬称略（令和3年11月24日現在）

<理事>

	所 属	役 職	氏 名
1	特定非営利活動法人 産業・環境創造リエゾンセンター	理事長	足立 芳寛
2	川崎工業振興俱楽部	会長	柳瀬 徹
3	川崎市地球温暖化防止活動推進センター	センター長	庄司 佳子
4	川崎信用金庫	理事長	堤 和也
5	川崎商工会議所	副会頭	浦野 敏行
6	独立行政法人 環境再生保全機構	総務部長	馬場 清
7	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構	総務部長	井上 悟志
8	川崎市工業団体連合会	事務局長	山部 典昭
9	日本電気株式会社 玉川事業場	シニアエキスパート	林 純
10	JFEスチール株式会社 東日本製鉄所	常務執行役員 東日本製鉄所 京浜地区副所長	高岡 隆司
11	東芝エネルギー・システムズ株式会社 浜川崎工場	工場長	安藤 秀泰
12	富士通株式会社 川崎工場	工場長代理	山口 貴義
13	味の素株式会社 川崎事業所	次長	白土 元嗣
14	東京電力パワーグリッド株式会社 川崎支社	次長	中田 理江
15	東京ガス株式会社 川崎支店	支店長	宇賀神 俊介
16	ENEOS株式会社 川崎製油所	常務執行役員 川崎製油所長	加藤 英治
17	一般社団法人 川崎市商店街連合会	会長	柳沢 正高
18	川崎市新エネルギー振興協会	会長	鈴木 和彦

	所 属	役 職	氏 名
19	一般社団法人 神奈川県トラック協会	副会長	高橋 浩治
20	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	理事長	宮村 俊秀
21	川崎市全町内会連合会	会長	瀧村 治雄
22	川崎市地域女性連絡協議会	会長	青木 恵美子
23	麻生区クールアース推進委員会	委員	天野 悅子
24	「エコシティたかつ」推進会議	副区長	筒井 康仁
25	特定非営利活動法人 かわさき市民共同おひさまプロジェクト	理事長	山下 博子
26	グリーンコンシューマー普及会議	代表	浦野 逸子
27	学校法人 聖マリアンナ医科大学	理事長	明石 勝也
28	学校法人 明治大学	常勤理事	荒川 利治
29	慶應義塾大学	常任理事	天谷 雅行
30	学校法人 日本女子大学	社会連携教育センター所長	横井 孝志
31	株式会社川崎フロンターレ	代表取締役社長	藁科 義弘
32	川崎市臨海部国際戦略本部	本部長	久万 竜司
33	川崎市経済労働局	局長	玉井 一彦
34	川崎市環境局	局長	三田村 有也

＜アドバイザー＞

川崎市国際環境施策参与	末吉 竹二郎
-------------	--------